

意識的となり、ロコッになつて来た、(吾々が支配階級に對して
 争ふ方法は只一つ大衆行動のみである。この大衆行動は「オヤジ
 だけでなく一家總動員でやつてこそ本當に強いものとなるのだ、
 敏捷な力強い大衆行動は組織された青年部なくしては決してやれ
 ない。青年部の必要は争戦や大衆行動の時だけではない、支配階
 級は多くの農村青年に絶え間なく軍國主義や排外主義の毒液を
 注入し、戦争の遂行と労働者農民運動を威嚇するための反動軍に
 組織するのだ。) 青訓、青年團皆然りである。かゝる支配階級の
 ギマンに反對して農村青年の事はれたる權利と階級にせられた妻
 求を闘ひ取るため又多くの農村青年を階級闘争に導くため、青年
 部の強化は絶對に必要である。(特に帝國主義戦争が益々擴大
 されんとしてあるとき吾々はその爲に全力を注がねばならぬ。
 實行方法 青年組合員を直ちに青年部に組織すること、青年部の
 組織を全會の方針に従つて連青年から再組織すること、地區青年

委員会を作ること、縣青年部書記局を確立すること、この具体
 的方針については新執行委員会に一任
 小作米減免闘争の件 (本部提議議案)
 寄生地主の土地所有と封建的を高い小作料の收奪、ことに農業
 協の深刻化による農産物價の下落と戦争による物價の高騰(こと
 に肥料農具の値上)税金の加重は今や吾々農民大衆を餓死の狀態
 にまで突き落した。
 吾々すべての農民は莫大な借金を背ひ、東北地方ではワラビ、フス
 マを喰べつくして大猫を糞殺して飯をしのいでゐる有様である。
 又すべての地方では八月頃から喰ふ米がなくなり飯米をヨコセの闘争
 が捲き起されてゐる有様だ。かゝる時若し吾々が小作米を支配つ
 てゐた日には吾々は餓死の外はないであらう、吾々は今年に斷然
 小作米の全免を地主に對して要求せねばならぬ。
 實行方法 各縣支部ではその地方の情勢に従つて、ヒラ、傳單、